

研修会報告

令和 3 年 2 月 24 日

文責：尾池 裕子

研修会テーマ「令和元年度細胞診精度管理フォローアップ研修会」

開催日時 令和 3 年 2 月 21 日（日） 13:00 ～ 16:00

会場 Zoom による Web 研修会

司会 佐藤 しげみ

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 34 名 入会申請中会員 0 名 非会員 6 名 賛助会員 0 名 学生 0 名

合計 40 名

講演 1 「令和元年度細胞診精度管理調査報告・設問解説」

仙台厚生病院 荒屋敷 聖 技師
石巻赤十字病院 尾池 裕子 技師

講演 2 「LBC アンケート結果報告」

仙台厚生病院 荒屋敷 聖 技師

講演 3 「LBC メーカー講演」

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ホロジックジャパン株式会社

講演 4 LBC 導入施設の講演「LBC における子宮頸部腺癌の細胞像」

宮城県医師会健康センター 黒川 典子 技師
宮城県対がん協会 横浜 一樹 技師

16:00 終了

内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となっていた、令和元年度の細胞診精度管理フォローアップ研修会を開催した。教育症例として出題した婦人科 LBC (Liquid-based-cytology) の正解率が低かったため、今回は LBC の細胞像について習熟することをメインテーマとした。

講演 1 では精度管理調査報告と正解率の低かった設問 2 題に対する解説を行った。調査実施から 1 年以上が経過してしまったため、例年より長めに時間を取り、出題画像を改めて供覧しながら報告を行った。

講演 2 では LBC に関するアンケート結果を報告した。県内における LBC の普及度合いや導入施設の抱える問題点などを共有することができた。

講演 3 では LBC メーカー 2 社に講演を依頼し、各社の原理の違いや細胞像の特徴などを多数の写真を交えて説明していただいた。

講演 4 では、県内で LBC を導入している 2 施設に、子宮頸部腺癌を中心とした LBC の細胞像について、教育症例の解説も含めてご講演いただいた。豊富な症例写真を用いて、従来法と LBC における細胞像の類似点、相違点、また LBC 標本のスクリーニングのポイント等を説明していただき、理解を深めることができた。すでに LBC を導入している施設はもちろん、これから導入を検討する施設にとっても非常に有意義な内容であったと思われる。

今回は、病理・細胞部門初の Zoom を利用した Web 研修会であったが、大きなトラブルもなく無事に終えることができた。参加者の反応が見えづらい点は多少心許ないが、活発な質疑応答や意見交換も行われ、充実した研修会になったと感じている。

今後も精度管理調査を通して、会員にとって有益な研修会を企画・開催できるよう努めたい。